

否定しないコミュニケーション

～子ども家庭支援の実践から～

話題提供者 いび てつおみ
衣斐 哲臣 (教育学部 教職大学院 教授)

人が生きていく限り、コミュニケーションをしないわけにはいきません。人の幸せや喜びなどプラスの気持ちも、人間関係のトラブルや心の病気や問題などによって起きるマイナスの気持ちも、すべてがコミュニケーションのなかで起きているととらえることができます。

私自身は、児童福祉や心理臨床の現場で、おもに子どもや家庭に関する問題行動に対し支援する仕事に携わってきました。

そんな立場から、支援的なコミュニケーションについてお話しできたらと思います。

参加無料
申込不要

日時

2018年1月17日 水 19:00～20:30

場所

岸和田市立浪切ホール1階 多目的ホール

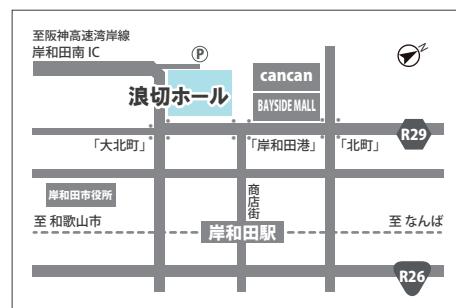
問合せ

和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有 (終日無料)



wakayama
univ.

わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

3月21日（水・祝）は、100回記念 浪切サロンスペシャルを開催します。

（場所：浪切ホール4階特別会議室）詳しくはサテライトのホームページをご覧ください。

3月21日（水・祝）	テーマ（予定）	話題提供者
第1部 13:30～14:50（予定）	データの子カラで子育てが 楽しくなるまちづくり（仮）	長谷川 秀美さん（ここからKit代表） 満田 成紀（システム工学部 准教授）
第2部 15:05～16:35（予定）	紀伊半島と西国順礼ー縁起・旅・書物ー	大橋 直義（教育学部 准教授）

第97回「人と自然が共生した地域づくり」のアンケートより

- ◇ 地球温暖化の深刻が問題になっている中で、日本の最大の罪は、“国民の無関心”なのだなと痛切に感じました。自分に直接害が及ばない限りは、自分には関係がないと考える、それが我々国民の本性だということには耳が痛かったです。今日は知らなかったことがたくさんあって、大変勉強になりました。（20代・女性）
- ◇ COP23における日本の立ち位置を知り、ショックを受けました。“民”の力の積み重ねが、“国家”の力という言葉が印象に残りました。自分たちに出来ることから温暖化対策を始めなくては。その前に、この現状を多くの人に知らせていかなければと思いました。（30代・女性）
- ◇ 本当に環境問題がヤバイと認識することが出来ました。ゴミ箱がないのにゴミを捨てている現状を少しでも改善できるように、できることから始めていきたいと思いました。ありがとうございました。（40代・男性）
- ◇ ヒトは、古今東西をとれず同じ過ちを繰り返すことだと思う。今のうちは、保険（地球に対しての）をかけていきたい。今日のお話は、ワイドでおもしろかったです。（40代・男性）
- ◇ すごくお話だった。私も日頃何も理解せずに生活していた。今日は出席して本当に良かった。
（80代・男性）

🔊 わだい浪切サロン参加者の声

- **大学の授業を体験**できたみたいでとても良かった。（10代・女性）
- すごくわかりやすく、**今の自分が知りたいテーマ**だった。（30代・女性）
- **質疑応答の時間**があるのが良い。（60代・男性）

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel&Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

🔍 岸和田サテライト

検索 🔍

